



うおっち Watch

発行:湖西中学校区園小中+高一貫教育推進委員会 担当:地域連携部会

<タイトルの「うおっち」には18年間の育ちを「地域でWatch（見つめる）」という意味を込めています。>

高島市では、「子どもの発達段階と学びの連続性を重視して、確かな学力と豊かな人間性、たくましい心身を育てること」を目標に、全中学校区において小中一貫教育の取組が展開されています。

湖西中学校区5つの校園におきましては、「つながりの中で たくましく学ぶ子どもの育成」を目標として、園・小・中・高のつながりを大切に、子どもたちに接続期の「段差」や様々な困難を乗り越える力を育みたいと考えております。

今年度は、研究主題を『18年間の子どもの発達段階を意識した「育ち」と「学び」をつなげていく教育の実践 ～キャリア教育を核として、学びに向かう力を育む～』としました。園小中高が一体となって子どもたちの『確かな学び』の実現と『豊かな育ち』の育成をめざし、4部会5グループ（裏面参照）にて取組を進めてまいります。また、学校だけでなく、地域や社会とのつながりを大切に、様々な体験や人とのかかわりを通して子どもたちの「学びに向かう力」を育みたいと考えています。

保護者、地域の皆さま方には、引き続きご理解ご支援をいただきますようよろしくお願いいたします。

湖西中学校区園小中+高一貫教育推進委員長 西村藤志男（新旭北小学校長）

【縦のつながり】

園・小・中・高の教職員が一堂に会して、新旭の子どもたちの「育ち」と「学び」における良さと課題について協議する。また、各校園の特色を生かしながら、共通の指導内容を考えたり、課題解決に向けての実践を積み重ねたりすることで、正しく判断し、たくましく生きる子どもを育成する。

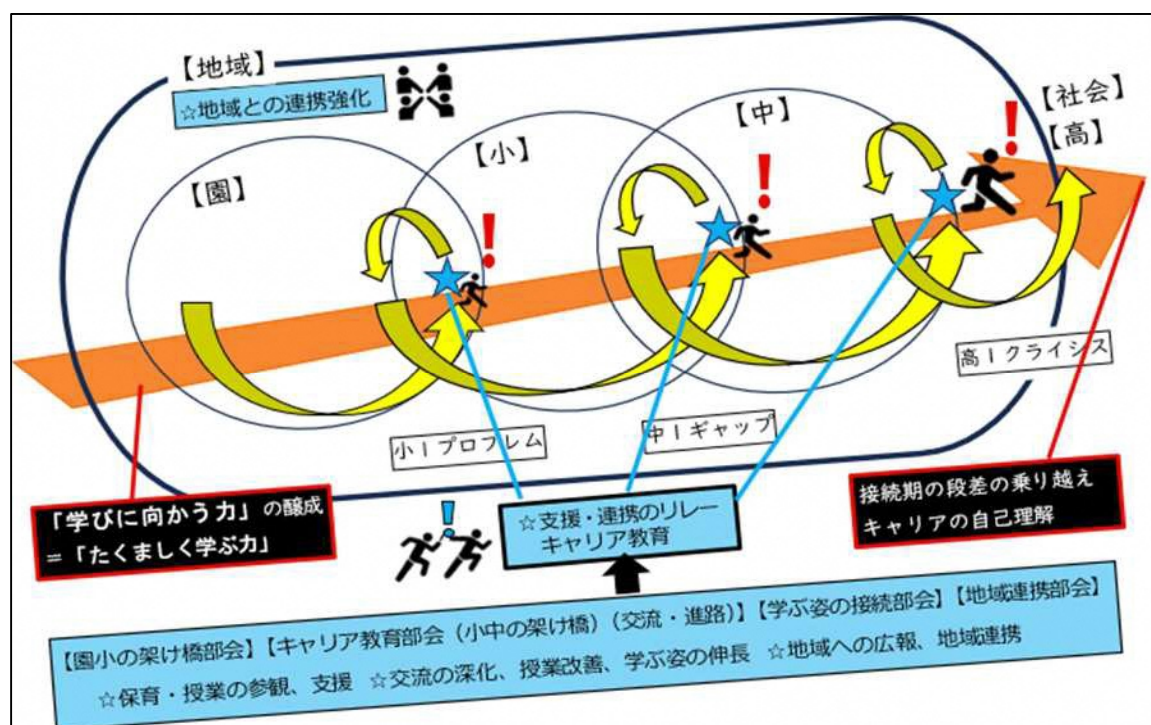
【横のつながり】

湖西中学校区各校園は、保護者・地域の皆様と深く関わり、大きな支えを得ながら教育活動を展開してきた。今年度も、保護者・地域の皆様とつながり響き合いながら、教育活動のさらなる充実を図り、適切な指導支援により子どもたちを導く。

地域連携を土台とした18年間を見通した学びと育ち

令和8年度 取組の重点

キャリア教育を核として、学びに向かう力を育む



園小部会

園小部会では、昨年度に引き続き相互参観を行い、互いの良さを取り入れて保育・授業改善を行いたいと考えています。また、今年度は、相互参観に加え、それぞれの小学校区で互いの授業や保育に「参加」する取り組みも行います。

行事の交流や情報交換だけで終わることなく、園の経験や学びが小学校に途切れることなくつながるよう、「学びの連続性」を意識しながら保育・授業を行っていきたいと思います。

小中部会

【学ぶ姿の接続】

本部会では、園や学校で子ども達がたくましく育ち、学ぶための土台となる力に注目して取組を進めています。友だちや仲間との関わり方、集団生活でのルール・マナーの身に付け方など、子ども達が日々の生活で自分を発揮するために必要となる力があります。現在はそれについて情報共有・協議し、そこから今年度大切にしたい保育士や教師のサポートを見出しているところです。部会員全体で各園校の子ども達を支えてくという自分事の意識で取り組んでいます。

【小中の架け橋】

6年生にとって中学校への進学は、期待を膨らませると同時に不安も覚えます。小中の架け橋部会では、小6と中1の接続期における「段差」や「進学の不安」を少しでも軽減させるために、

- ① 北小6年生と南小6年生との交流、中学生陸上部の先輩から市陸上記録会に向けてのレクチャー（9月15日予定）
- ② 中学校での両校合同授業・部活動体験（10月20日予定）などに取り組めます。

【交流・進路】

キャリア教育部会では、中学校2年生が安曇川高校での体験入学と高島高校からの出前授業を予定しています。3年生での進路指導の前段階で「高校」を体験することの意義は実証済みです。引き続き実践していきたいと思います。また、小学校高学年において、中学校卒業後の進路について考える視点を検討することや、小学校の教師が中学校のキャリア教育の実態について学ぶ機会をもつことも考えています。

地域連携部会

地域連携部会では、情報収集・情報発信を通して地域と連携し、子どもたちの「確かな学びの実現」と「豊かな育ちの育成」を支える土台となっていけるように、次の活動に力を入れていきます。

- ① 広報誌「うおっち」の発行・・・小中一貫教育の各部会の取組や、各校園での活動などを発信します。
- ② 新旭地区行事カレンダーの作成・・・保護者や地域の皆様に、各校園での取組を把握していただくために、行事カレンダーを作成し、配付します。
- ③ 学校地域連携カリキュラムの作成・・・各校園の「学校地域連携カリキュラム」をもとに、中学校区の学校地域連携カリキュラムを作成します。「環境」「栽培・食育」「キャリア」「福祉・防災」「体と心づくり」の5つの柱について、各校園でめざす子どもの姿を共有するとともに、お互いがどのような活動を行っているかを見える化することで、今後の活動の見直し等に活用していきます。